



早春の南アルプス／遠望

#### 《 経営理念 》

当財団は 生態系や自然環境に配慮し、  
健全・正常な活動を考え・実践し、  
地域社会の持続的な発展に寄与いたします。

素晴らしい新年度を迎えました。JR:勝沼ぶどう郷駅のさくらがフルオープン！！電車で、総会に来られた皆さんが絶賛！！これまで、年度変わりのこの時期に郷の桃・さくらんぼなど、すべての花木が一斉に花開くことはありませんでした。総会への参集呼びかけ／キャッチ言葉も案内状まで・・・でした。歳重ねた今日、冬の新年／年越しより、この頃の陽気が新入学などの人生の節目と合わせて、こころに懐かしく思い浮かびます。

皆さまのところの春は、いかがでしたか？温暖化は、確実に！！陽気も半月以上早くすすんでいるようです。その分、冬の寒さもより厳しく、アルプス氷河の雪解けもさらに進んでいることでしょう。古民家に飾っているスイスアルプス、先年のスキー行の折に写した氷河。アイガー・ユングフラウなども様変わりのことしょう。

さて、お陰さまで、年度越し総会も終了。無事、新年度に。昨春から遠くなっていた、近くの社会福祉法人の子どもたちが古民家に集い、総会に参加された皆さんと交流しながら、楽しい昼食／交流の機会にもなりました。新たな役員交代／若返り。さらには、無人島グループの若人（次期PL）にも参加いただき、価値ある、トーク総会。新たな道すじ・指針などを賜りました。



昼食を済ませ、くつろぐ授産園の皆さん

今号の内容は、以下のとおり、

- ① トーク総会結果のご報告
- ② 『スローライフを満喫！』昨秋、ムジプロ同窓会のリーダーを務めた、  
女大生のインターン／プロジェクト体験レポート。
- ③ SDG'sに添った、今後の方向性

となります。



トーク総会参加者 木の香ちゃん／眞見君も！！！！  
“感謝・感謝！ ありがとう！”

### I、総会の結果／財団よりのご報告＞

お蔭さまで5周年を越え、第6期のご報告。役員の若返り後、なんとか一年続けてきました。ワイン用のぶどう／減農薬草成栽培も、古民家の活用も、また地域の皆さまおよび賛助会員とのコラボなど拡まって、多彩な皆さんが扱られるようになりました。こころ忙しい、多忙な一年でした。

中でも、“学校でもない・家庭でもない”悩む10代、第3の居場所としての古民家活用は、ますます賑やか。毎週の定例集会（316名／43週）のほか、扱られる皆さんが希求されるイベントなども多くなってきました。楽しみにした、“Autumn Fest／秋祭り”も賛助会員ほかのサポートをいただき、麺うち体験の“ほうとうバイキング”を行いました。

“農福連携”では、社会福祉法人の皆さんの憩いの場（50数名／3回）として、お使いいただきました。今春も、扱られました。

期待する平成生れ／Z世代の若人／無人島プロジェクトの皆さんが新たに来所（44名／3回）。地域のみなさ

んと農事支援方々交流を深め、元気に戻られました。うちリーダー体験／PLの2名は、海外(ベルギー&スウェーデン)留学に出られたこと、嬉しく思われます。年末には、有志が再度来訪。古民家での年越しをされた皆さんも!!! 出入りの多い、賑やかな一年でした。

他方、露地飼いの養鶏／アニマルウェルフェア(AW)やら太陽光発電による再生電力の自給は継続検討。課題も残しました。設立目的に沿ったSDG's:ソーラーパネル活用などは、採算面などを考慮して、継続検討です。

落ち葉の自然還元／埋め戻しなどを試行。周囲への迷惑／飛散も解消、苦情などなくなりました。

引き続き、皆々さまの積極的なご理解・ご支援に支えられながら、財団の設立主旨を体して、環境保全に努めSDG'sに添った豊かな地域社会の発展に務めていく心算です。

〔財務状況の報告／見込み \*単位:千円 ( )内は、前年

・収入 3,242 (3,573)

前年からの空き家など、埋まらず／家賃収入は、△331。昨年と同様に、支援いただいた多くの皆々さまからの賛助金400が支えになりました。

・支出 2,275 (1,987)

LCS用貸家の内装／補修に200。賛助会員へGV福袋／返礼125。

その他の通常経費は減⇒“農福連携”など、手付かずでした。

・剰余金 546 (586)

\*決算／償却引当金。

・現金／フォーラム小口分 202 (ゆうちょ銀:会員口) ・銀行預金 406 (普通預金／山梨中央)

★LCS:高齢者の退去後などの、内装／修繕費の支出が今後の課題です。

〔来期に向けて／計画概要〕 今期と同様のプログラムを継続し、“農福連携”のほか、財務基盤強化の新たな取組みをはじめめる段。

・ 新たな取組み / トーク総会の結果

① “農福連携” 具体的な参画プログラム 連携事業など、これからー

② 子どもの居場所“あ・い・る”への支援強化。⇒“心休める空間”の提供

毎月曜日に変更されました。⇒3S(整理・整頓・清潔)に努め、お迎えいたします。

③ ムジプロ／Z世代の受入⇒起業・プロジェクトの体験を図る新リーダーの育成・継続  
近隣農家への支援、古民家の“ECOビレッジ”化なども視野に入れて!!!

④ 賛助会員制度の改定 ⇒返礼品に干し柿／福袋も含め、事務局で企画／案作成

⑤ Buttobi／ワイン蔵 GVワイン試飲場、ジンパwithGVワインの提供 など

⑥ “Autumn Fest／秋祭り”／11月上旬／予定 “皆さんの参画次第?”

⑦ 若人の東京ベース “いち庵”／あきる野(寄付受入)⇒活用法など、要検討  
役員の任期満了⇒退任に合わせ、新役員数名を含め、事務局一任をいただきました。  
サポーター有志より、“お茶会”の場提供の素晴らしい提案をいただきました。

2階／母屋の整理／リノベーションは来訪者のプライベートスペースとして、  
新たな活用を考えます。

## II、『スローライフを満喫!』秋のGV古民家体験(女大生のインターン／PM体験レポート)

2022年度は、無人島プロジェクトとして6月に引き続き、2回目を10月上旬に開催させていただきました。

秋晴れの空の下、24人のメンバーと1泊2日の都会を離れた生活が始まりました。

1日目の最初は、ぶどう畑での農事体験!肥料(お礼肥)を撒き、ぶど





う(つぶ)の皮むき／2次加工作業を体験いたしました。普段できない体験で、ワクワクしながら作業しました。

夜は、甲州市のぶどう祭り。古民家近くでの鳥居／山焼きと花火大会があり、私は今年初めての花火を見ることができました。

夜ご飯は、名物の“甲州ほうとう！”。肌寒くなった夜に外で食べるほうとうは温かく、たくさんのお野菜とモチモチした麺がなんとも絶品でした。

2日目は古民家の庭先で、**テントサウナ**や**流しそうめん**をしました。伐採してきた竹を細工して作った土台で食べる流しそうめんはとても美味しく！！！そうめんだけでなく、ぶどうやほうとうを流してみんなでワイワイ楽しみました。



甲州ほうとう、／麺うち終えて、“ひと安心”



そうめん流し台づくり



ぶどうの棚下に、**テントサウナ**出現！！

古民家には、東京に住んでいる人、名古屋に住んでいる人、関西に住んでいる人。大学生、社会人などさまざまな人が集まり、“はじめまして”の言葉を交わし、2日間でみな仲良くなりました。帰ってからも各地で集まり、遊んでいるなど、古民家での出会いが繋がっています。ここでの繋がりは今後もつづくことでしょう。

記：中本有咲(あさき)／武庫川女子大



### Ⅲ. SDVG'sに添った、今後の方向性(課題)

#### ① Ecotourism の涵養

“生態系や自然環境に配慮し、旅を通して、自然に対する理解を深めようとする考え方、またそのような旅” (広辞苑より)

#### ② 新任役員／次世代へのスムーズな引継ぎ 経営理念／エコツーリズムに沿った、人育て

#### ② 受け入れ環境の整備

- ・ 畑周辺 雑草の排除 ・ 駐車場：棚下スペースの活用
- ・ 古民家 IT環境(WI-FI、PC、Printer)／事務室の整備  
2階／母屋の活用⇒プライベートスペースとして  
**お茶会**スペース⇒座敷(炉づくり)・離れ、庭先(回遊池・灯籠など)の整備

#### ④ 賛助会員／規格の改定⇒賛助金額、返礼品、呼びかけ先など “GV 福袋：**枯露柿**++”

#### ⑤ BUTTOBI(ワイン蔵)の活用 **村のコンビニ**！、または、“**拠り所**／**居酒屋**”に⇒農福連携”事業に。

⑥ その他、地域の皆さんの期待に応える施策 お花屋・居酒屋／“ジンパ(ジシギスカン)”など

“焦らず、慌てず、侮らず！” に、**着実な漸進を！**

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 設立当初の経営理念・目的／定款に則した、“**ブレナイ**”活動をつづけます。

4月 下旬から、北海道へ。えこふぁーむに**実習体験**。甲府育ちの有機農法を実践者&北海道農民管絃楽団指揮者の牧野時夫氏に教授いただきます。余市エコビレッジにも。

あと、辺野古／沖縄へ。若人の要望に応え、**復興50年後の沖縄視察**です。平和を希求される皆さんに会って、元気いただきます。“日本のBALI島”＝久高島にも。引き続き、

7月は、再度北海道へ。こちらは、賛助会員／元教**師ご夫妻**の要望。ECO ビレ & えこふぁーむ／有機農場見学／余市のほか、道北観光。旭川から塩狩峠・天塩川温泉／音威子府などです。

希望者は、  
お申し出ください  
090-1617-4814

新型コロナもやっと治まり、日常が戻りつつあります。侮らず、**運動・笑顔・交流**／免疫力の維持高揚に努め、“**ここを楽園に！**” 生き抜かれますよう祈念いたします。

2023年 4 月

ECO〔環境保全〕フォーラム

事務局 前田栄一

一般財団法人ぶどうの郷創生機構

